

公益財団法人豊橋文化振興財団情報誌

2015年3月—4月

プラット ニュース

vol. 12



TOYOHASHI
ARTS
THEATRE
PLAT



1月9日～18日第一次稽古の現場から
(創造活動室Aにて)



市民と創るスケッチ群像劇

撮影:伊藤華織

『話しグルマ』

2015年3月14日・15日
PLAT主ホール

心を開放する劇場の祭りを、豊橋市民と一緒に

俳優・近藤芳正さんとPLATがタッグを組んでスタートした新たな試み、それが市民の市民による市民のための群像劇『話しグルマ』。出演者とともにストーリーを作り、それぞれがやりやすいキャラクターを演じ、台詞を覚えにくい方には台詞を少なくして、もしも台詞を忘れたら誰かが伝えに舞台に出るなんていう破天荒な手法もありそうです。なぜって、気持ちを開放してもらうことが一番の目的だから。観る側の心の扉だってきっと開かれると確信して、『話しグルマ』、出発進行です!

構成 演出 **近藤芳正** × 出演 演出補 **憲俊**

司会 = PLAT事業制作チーフ **矢作勝義**

演劇は人と触れ合う ことでしか作れない。



クルマという密室が生む物語

近藤芳正



矢作●この企画は近藤さんから、「市民と一緒に演劇を作りたい」というお話があったのが最初でした。そう思われたきっかけは?

近藤●面と向かって話せない人が多くて人材育成に困っているという相談がよくあって、人と触れ合うことでしか作れない演劇なら、何かできることがあるのでは、市民と一緒に作ることで、お互いに触れあうものがあるんじゃないかなと思ったんです。クルマはね、密室だから父親と息子とか上司と部下とか、普段なかなか会話しない者同士の間言葉が生まれやすい。この空間で豊橋の人々の人生模様を描けたらと。

矢作●PLATとしてはとにかく一度豊橋に来ていただこうと、それで昨年2月に1日完結で『はじめまして～豊橋市民のみなさん』というワークショップを開いた。近藤さん、名古屋出身なのに豊橋は初めてだって。

近藤●もっと名古屋っぽいのかと思っていたら、大きな勘違い。静岡と名古屋の文化が混じって新たな文化ができています。味でも、たとえば同じ味噌でも薄目で、僕なんか、こっちのほうが好きなんですよ。





1月9日、10日——
生きた言葉を引出す2日間。
場所と人物とシチュエーション
だけを伝えられ、出演者同士はその
場で考えシーンを作っていく「エ
チュード」という稽古。「僕より皆
さんのほうが上手い」と、近藤さ
ん。そこで生まれた「生」の言葉は、
『話しグルマ』の脚本に活かされて
いきます。



市民と創るスケッチ群像劇 『話しグルマ』

好評発売中

- 構成・演出＝近藤芳正 ● 脚本・演出助手＝山田佳奈
- 出演＝オーディションで選ばれた一般市民
- 出演・演出補＝大谷幸広／小野寺ずる／憲俊
- 日時＝2015年3月14日〔土〕14:00開演
15日〔日〕14:00開演
※14日公演終了後トークあり
- 会場＝PLAT主ホール
- 料金＝[全席指定] 一般:2,000円
ユース(24歳以下):1,000円
こども(高校生以下):500円

矢作●憲俊さんからは、直接電話をいただきました。

憲俊●最初、芳正さんに「出させてください」ってお願いしたら、「考えておいてあげるよ」。それで、「自分で頼んでいいですか」って。

矢作●そもそもお2人が出会ったきっかけは？

近藤●10年ぐらい前かな。僕が東京でお芝居していたときに観に来てくれた。そしたら、NHK『中学生日記』で僕の先生役だった湯浅実さんの教え子の教え子だって。芝居では、代役を頼んだのが始まりですね。

憲俊●いっぱいご迷惑をおかけしました。

近藤●「俺はここにいるぞ」っていうのが、すごかったんですよ。

憲俊●それで、「代役とはこういうものだよ」って。そこから師弟関係が始まりました。

水上ビルのseboneに「これだな」

矢作●今回の出演者の印象は？

近藤●オーディションは16歳から60代の方が集まってくださって、皆さんおとなしそうに見えて熱意がすごいというのを市民の特色として感じましたね。殻を破れば相当熱いものがあるんじゃないかと予感した。

矢作●11月のワークショップでは、ステージの小野寺修二さん、出演・演出補の大谷幸広さん、小野寺ずるさん、脚本・演出助手の山田佳奈さんとフルメンバーが集まりました。近藤●修二さんの進め方の圧倒的なうまさ、発想力はもう、凄まじいものがある。僕自身と一緒にワークショップを受けている感じでした。構成でも、僕と佳奈さんが困っている

ところを相談すると、次から次へとアイデアが出てくるんです。その佳奈さんは、人の動かし方とか車の動かし方とか、見事に考えていてくれている。今回の大人数の芝居では絶対に彼女の才能が活きると思っていたんですけど、今はもう、大船に乗った気分です。大谷君は、人と関わりたい人で、僕の目の届かない部分も見えているし、ずるさんは、いるだけで心安らぐというか。それと演劇の質はすごくいいんですよ。

矢作●物語のあらすじは、できているんですか。

近藤●物語は、豊橋に住むある家族を中心に、そこに絡む人たちの生活のお話、かな。実は、最初に「これだな」って思ったのが、PLATに隣接する水上ビルで開催されている都市型アートイベント「sebone」で、この「sebone(背骨)」はキーワード。人はやっぱり繋がっていないと生きていけないんで、その繋がりを表せたらいいなと思っています。

憲俊●「名古屋おもてなし武将隊」でデビューしたとき、会社員の方とか多かったんですよ。僕自身も不安で、でも、人間って「一生懸命」というスイッチが入ったらすごいエネルギーを出すんだって、市民の方からいっぱい



憲俊

学べるって思いました。今回も、そういうエネルギーが芳正さんを中心に背骨のように集まってドーンって大きなうねりになるって感じています。

一緒に熱を上げてお祭りを

矢作●1月に2週間稽古があって、2月17日からは公演直前まで稽古が続きます。どんな舞台になるのか、これからが楽しみです。

近藤●稽古を積み上げてしっかり作るか、市民と一緒に作るお祭りとしてライブ的にやるか。最後の稽古までわからない感じですね。

矢作●では、最後に一言ずつ、お客様にメッセージを。

近藤●構成・演出ではありますが、皆さんの顔も拝見したいので、少し舞台上に出ます。一緒に熱を上げてお祭りを作りたいと思っています。ぜひ、お気軽に遊びに来てください。憲俊●僕は出演・演出補で、出演する市民一人ひとりの笑顔やエネルギーがすごく力をくれている。皆さんにも活力になると思っています。お待ちしております。

[こんどう・よしまさ] 東京サンシャインボーイズに欠かせぬ客演俳優として脚光を浴び、テレビ、映画、舞台と活躍。あらゆる役に深く踏み込む演技力と表現力に定評がある。2001年に自身がプロデュースする「劇団月ダンダンエノ」を立ち上げる。2009年からはダンダンエノから派生したソロ活動として「バンダ・ラ・コンチャン」を始動。舞台プロデューサーとしてダンス、音楽界など舞台外の分野から積極的に人材を招き入れるなど、多角的で挑戦的な創作を展開している。舞台制作の他、若手俳優に対してのワークショップを主宰し、後進の指導にも力を注いでいる。

[けんしゅん] 2009年「名古屋おもてなし武将隊」で現代によみがえった織田信長として一躍注目され、役だけに留まらず演出や殺陣、脚本も手掛け、2011年には自らがリーダーとなり演劇ユニット「SCANP」を立ち上げる。武将隊を卒業した2012年4月からはメ〜テレ「ドデスカ!」に出演、名古屋の朝の顔となり、地元を応援する団長として現在に至る。



1月11日、12日、16日、17日、18日——
「質感」を伝える。
見てください、この迫力! 小野寺修二さんによるムーブ(振り)の稽古です。「まじめ過ぎると全部一緒になる。だから、今の状態を楽しんで」「そうして質感をとらえたら、空気が変わる」。小野寺さんの言葉に、近藤さんは深く頷き、「一緒にやれて本当に幸せ。劇中の振りはこの5日間で確実に見せられるものになった」と、話します。



『狂人なおもて往生をとぐ』

～昔、僕達は愛した～

現在活躍中の若手演出家と先人の優れた戯曲を出会い、新たな魅力と刺激的作品の創出を——こんな志のもと、東京芸術劇場が取り組むシリーズ企画“Roots”。昨年7月の第1弾、『ストリッパー物語』（つかこうへい作、三浦大輔構成・演出）に続き、今年は、清水邦夫作『狂人なおもて往生をとぐ』を甦らせます。演出は、昨年のPLAT主ホール公演『おそるべき親たち』の熊林弘高。一方の清水邦夫といえば、『鴉よ、おれたちは弾丸を込める』の作者です（6-7ページ参照）。その舞台への期待を込めて、新年早々から動き出した稽古場をレポートしました。

撮影：江森康之



福士誠治

「僕」は、売春宿に普通に居る「ひもの男」

世の中が動き出したばかりの1月5日、都立高校の旧校舎を転用した東京芸術劇場運営の東京舞台芸術活動支援センター。中スタジオは、稽古開始時刻の30分前にはもう、演出の熊林さんをはじめ出演者やスタッフが集まっています。若い俳優さん4人が顔を揃えていることもあって、華やかな雰囲気。一方で、あちこちから聞こえる会話や笑い声は、なんとも不思議な魔力となって空間を満たします。そんななか、熊林さんがひときわ大きな声で、「親戚ほど厄介なものはない。この話を始めたら1日はかかるけど」と言うと、それぞれに今回の戯曲を連想したのか、笑い声一つに。初日ながらアイドリング完了といった感じでした。

そして11時半。「2幕まで、ト書きは抜いて台詞だけ読んでください」との熊林さんの言葉で、本読みスタート。熊林さんの隣には、全体を俯瞰する創造主のごときドラマターグ・木内宏昌さん（昨年、小田島雄志翻訳戯曲賞受賞）が座ります。3幕へ進む前の休憩時間には、舞台装置の模型が登場し、美術プランナー・二村周作さんから説明も。一見、淡々と進んだ本読み稽古ですが、1969年の清水作品に新たな息が吹き込まれるのを感じさせるに十分なものでした。

稽古終了後、主役（出役）の福士誠治さんをインタビュー。自身の加わるユニット「演劇ユニット乱一run」による『365000の空に浮かぶ月』（下北沢・本多劇場）千穂楽の前日のことで、役柄から少し髭を生やして髪も長めで、ちょっとワイルドな印象です。

中島●休憩中、キャストの皆さんで家族談義に花が咲いていました。福士さんは、とても幸せな環境で育ったということでしたが、

福士●はい。きょうだいの仲もいいし、親のことでもめることもないです。でも、急に腹黒くなるのも家族なら、あと何年かしたら、ね、わかりませんが（笑）。

中島●初めて台本を読んだときに感じたことは？

福士●タイトルもインパクトがあって、読んでいくと「家族ごっこ」になっている。本当に家族なのに家族と思わない人、それが僕、出で、みんなが出にあわせていく。つまり、僕が「狂人」なのですが、熊林さんともお話しして、狂人を演じてしまうのは少し違うのではないかと。妖怪を演じろと言われていたわけではないし、ちょっと奥深い怖さで、出はこの人たちを真面目に売春宿のママと客だと思って接しているだけで、まともなものではないかと。まわりは家族だと思っているのに、そ

う思われている悲しさがある。だから、僕は売春宿に当たり前にいる「ひもの男」を演じていくのが第一歩だと思っています。

中島●だから、本読みも伸び伸びしてたんですね。聞く人に直球でくる快感がありました。

福士●ほんとうですか。熊林さんに「福士君が福士君でいてくれたらそれでいい」と言われているんです。だから、「今ここにいる」というものを観ていただけたらいいのかなと。多分、あの家族にとっては日常で、何度も繰り返されている会話の、「ある夜のひととき」だと思うので。熊林さんは壁なくお話しできる方で、台詞の感性がわからないときに、おしゃべりの延長の感じてきてもきちんと伝わる。これが、僕にはすごく効果的なんですよ。

中島●NHK朝の連続ドラマ『純情きらり』のロケ地が岡崎で、味噌問屋の若旦那でした。それもあって豊橋にはファンが多いんですよ。福士●ありがとうございます。皆さんにはぜひ劇場に足を運んでいただいて、テレビとはまた違った僕を観てくださったら嬉しいですね。

中島●しっかり伝えます。今日は、ありがとうございました。

[ふくし・せいじ] 1983年生まれ。神奈川県出身。2002年ドラマデビュー。2006年NHK連続テレビ小説『純情きらり』で人気を博す。主な出演作品に、ドラマNHK『オトコマエ!』主演、CX系『のだめカンタービレ』、TBS系『ハンチョウ』、映画『日輪の遺産』、『利休にたずねよ』など。舞台作品への参加も多く、『RENT』『サイケデリック・ペイン』『真田十勇士』スーパー歌舞伎II『空ヲ刻ム者』など現代劇から時代劇、ストレートプレイからミュージカルまで多岐にわたる。2008年からは演劇ユニット「乱」の一員としても活動中。

『狂人なおもて往生をとぐ～昔、僕達は愛した～』

50代の男と女。20歳から30歳の若者たち。
そこにあるのは家庭か売春宿か。
あるいは、すべては虚飾と幻想か。
物語は売春宿の1シーンから始まります……。

- 作＝清水邦夫 ●演出＝熊林弘高
- ドラマターグ＝木内宏昌
- 出演＝福士誠治／緒川たまき／門脇麦
葉山奨之／鷲尾真知子／中嶋しゅう
- 日時＝2015年3月1日〔日〕14:00開演
- 会場＝PLAT主ホール
- 料金＝〔全席指定〕S席：5,500円
A席：3,000円 ほか



演出 熊林弘高

人は、止まらない時間を生きていく。

中島●この戯曲を選んだのは？

熊林●清水邦夫さんの戯曲は驚くほどたくさんあるんですけど、それを全部読んで一番ピンときたのがこの作品だったんです。何に惹かれたかっていうと、家族というのは非常に紙一重のようなところがあって、それが売春宿の設定になっている。家族の、父とか兄といった役割や血縁を取り払ったとき何が見えるかっていうと、専業主婦の家で、お父さんは外でお金を稼いできて、男女の営みがあって子どもが産まれる、つまり、男と女の営みと、そこへの対価としてのお金があるんだと。

中島●初演時の1969年は学生運動が盛んな時代で、背景にそれが顔を出しています。

熊林●僕はあまりポリティカルな人間ではないんだけど今、文部科学大臣が「教育勅語は今でも十分通用」なんて話すのを聞くと、当時に似ているなと感じますね。ただ、学生運動についていえば、僕が生まれたときはもうまったくなかったから、そこを語るとフェイクになるし、また、なんらかの考えを持っているわけでもない。だから、学生運動だけを取り出してコミットしてみると何も感じないですね。主人公の出は、40数年前の30歳。僕には過去で、生きた時代がまったく違う。

とすれば、今を生きているものとして、物語が歴史として内包しているものを伝えたい。
中島●物語では、売春宿と思えたものが実は家庭であり、その家庭にある秘密が少しずつ匂ってきます。

熊林●静かに1枚1枚虚飾をはぎとって「真実」が炙り出されていくんですね。「静か」というのは、言葉が少ないということでもあって、それもまた、表現の表れです。そこに肉体をどう持ち込むか。役者さんとの共同作業で、関係性がとくに重要だと思っています。

あの、うまく言えないんですけど、言葉は少なくとも事件は起きる。小さなことも大きなことも人間が起こす。人と人との関係が常に行為をとともうもののだとしたら、人は明らかに何かを強いられていると思うんですよ。

中島●その「何か」でしょうか。東京芸術劇場のリリースで「呪縛から解き放たれた若者は、過去の蓄積といえる家から易々と出ていきます」と語っていらっしゃいます。

熊林●実は僕は、このラストに違和感があって、とくに大切にしたいところでもあるんです。人は止まらない時間を生きていて、それは癒しにもなるけれど、破壊にもなる。そして、残された父、母はゆくゆくは滅びていく。今を生きる僕たち、残される者たち。そこを包



括した物語にしたい。ジャン＝ルイ・トランティニャンというフランスの俳優が「より多く感じて、より少なく演じる」と言っているんですけど、この舞台は、まさにそれかな。そして、お客さんと同じ時間を共有して感じてもらえたら嬉しいですね。

中島●3月1日、楽しみにしています。ありがとうございました。

〔くまばやし・ひろたか〕

最近の演出作品

2013年 イングマール・ベルイマン作『秋のソナタ』（びあ）

2014年 ニーナ・レイン作『ドライブス』（世田谷パブリックシアター）

ジャン・コクトー作『おぞるべき親たち』（東京芸術劇場）

さいたまゴールド・シアター

『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』

世界3か国5都市公演を終えて

昨年12月20日・21日PLAT主ホールで、さいたまゴールド・シアター『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』が上演された。ゴールド・シアターとは演出家・蜷川幸雄が率いる、平均年齢75歳の演劇集団である。蜷川幸雄が演出するとはいえ、誤解を恐れずに言えば出演者は皆素人。今回は、演目も必ずしも一般的とは言えない、清水邦夫による不条理満載の戯曲である。それが異例ともいえる香港—東京—パリ公演を終えて豊橋へやってきたのだ。これは単に平均年齢75歳の高齢者が蜷川幸雄の演出を受け芝居をしているという事実以上に画期的で重要なことといいいい。そこで、公演のキーパーソンともいべき彩の国さいたま芸術劇場の2氏に登場していただいた。

撮影:宮川舞子



香港公演のワンシーン。豊橋でも変わらぬ熱気で魅せてくれた

特別寄稿

よくしゃべり、よく笑う人生の達人たちの美しさ

彩の国さいたま芸術劇場 事業部長 渡辺 弘

なんなんだろう？この元気は！どこから？

現在、平均年齢75歳のさいたまゴールド・シアターと付き合いようになって、9年目を迎えたがいつも感じることだ。

でも一人一人抱えている事情を聞くとつらいことが多い。最近、夫を亡くされた方がいる。妻が入院していて稽古や公演の間留守にして大丈夫かとか、血圧が200近い数値になるとか、生活保護を受けていて……など、在籍39名の事情は様々だ。稽古場では思うように動けず、そして最大の敵、記憶力との戦いがある。でも、稽古に来る時の表情はなんて生き生きしていることか。そして稽古が終わると、ああだこうだとよくしゃべりよく笑う……。

こうした人たちを引き連れて昨年11月から12月の2ヶ月、香港を皮切りに東京、パリ、豊橋、川越の3ヶ国5都市のツアーを敢行した。

演出家の蜷川幸雄さんが、「年齢を重ねた人々が、その個人史をベースに、身体表現という方法によって新しい自分に出会う可能性」を探る、プロでもアマでもない独自の集団を目指してきたのがゴールド・シアター。ツアーのきっかけは2年前の5月、パリ日本文化会館での公演だった。芝居はパリの演劇関係者の評判となり、次の年にヨーロッパの最前線の舞台芸術が集う“市立劇場”のメインプログラムに呼ばれるという事態となった。「きちんと評価してくれた」と、『鴉よ〜』に込められた劇作家清水邦夫さんと自分の想いが伝わったことに嬉しそうな笑みを浮かべた蜷川さんが居た。

しかし、一年後、演劇の神様は意地悪だった。香港の初日の早朝、蜷川さんは病院に緊急搬送されてしまった。そこからは

主のいない集団となったが、この高齢者たちはめげない。いままでもどこに隠していたのかというような集中力を発揮し、初日の舞台を無事務めた。以後、川越まで芝居が崩れることはなかった。

香港では、ちょうど『鴉よ〜』に合わせたかのようなバリケード占拠が市中で起こっていて、客席も若い観客が多いせいか熱狂的な拍手に包まれた。その熱い拍手はパリも同じだった。高齢者のスローモーションや若者への劇的な転換に驚き、ラストの弁護士の台詞に大笑いしてくれたのだ。なぜか東京は静かだったけれど。

「蜷川幸雄が高齢の一般人をありのままの人間として捉えた、この大所帯プロダクションが創り上げる情景一つ一つが、息をのむ美しさに満ちている。きっと記憶に残る公演になるだろう」とパリは今回も評価してくれた。

高齢者ということで私制作者は面倒みようとするが、香港でもパリでも豊橋でも、こちらの心配など気にせずマイペースで過ごす彼らは、高齢者ではなく人生の達人たちなのだと思ひ知らされる日々だった。よく食べよくしゃべりよく笑う。目的をはっきり持つ人たちは強い。豊橋からの帰りの新幹線も練り物やお菓子を抱えたメンバーで賑やかだった。いつでも元気だ！（追記）蜷川さんは川越の大千稲楽に、車椅子ながら元気な姿を見せました！

【わたなべひろし】1953年、栃木県生まれ。80年より情報誌編集の側ら演劇ジャーナリストとして活動。84年、(株)西武百貨店に入社し銀座セゾン劇場の開業準備、87年開場より制作業務を行う。89年、(株)東急文化村に入社しBunkamura開業準備に携わり開場後はシアターコクーン運営、演劇制作を行う。2003年より長野県松本市のまつもと市民芸術館の開業準備に携わり、開場後はプロデューサー兼支配人として運営、制作を行う。06年10月より(財)埼玉県芸術文化振興財団に移り現在、同財団業務執行理事兼事業部長。



パリの劇場スタッフの視線が変わる日

パリ千穉楽カーテンコール

彩の国さいたま芸術劇場企画制作 松野 創

—— 2013年のパリ公演から今回のツアーに至る経緯はどうだったのでしょうか。

松野 ● 蛭川さん旧知の、ヨーロッパに住む日本人の方の仲介で話がまとまったのが最初のパリ日本文化会館での公演です。蛭川さんの名前はロンドン公演などですでに知られていましたが、フランスなのでシェイクスピアよりも日本の現代作家の作品に興味をもたれたようで、そこに蛭川さんの「清水の群集劇をもう一度やりたい」という強い思いが結びついた。世界的に見てもゴールド・シアターのような高齢者の劇団はなく、立ち上げのときから海外公演を目指していたこともあり。初演を多くの演劇関係者が観に来てくださり、蛭川幸雄という演出家に、そして清水邦夫の物語にも興味を持ち、パリ市立劇場がオファーしてきたんです。

—— 今回、パリでの反応は？

松野 ● ファッション、映画、もちろん、最近のポップカルチャーでも、日本への関心はすごく高いと感じましたね。お客さんも劇場スタッフも漢字の入ったTシャツを着た人がいたり。とはいえスタッフは、もう世界中からアーティストが来ては週替わりで舞台公演に関わっているわけでしょう。当初は「どんな舞台？」というような、ちょっと距離を感じさせるものがあつたんですが、初日が開いて2日目から優しくなったというか、視線が変わったのを感じました。

—— 観客の反応が良かったから？

松野 ● それは、すごい反応だった。劇場の女性スタッフは、「女性の内面を代弁してくれる話だ」と、娘とそのボーイフレンドを呼んで見せたほど。学生の受けも良かったですよ。劇

場関係者が学校に行つて、作品の紹介から背景まで説明して斡旋するプログラムがあるんですね。一般の入場料35ユーロに対して学生は26ユーロ、3500円ぐらいです。

—— ポスターは、パリのデザイナーによるものですね。

松野 ● いいですね！ 銃には、フランスでも拒否反応があつて、銃を持たない老女の存在を際立たせた。黒澤映画を彷彿とさせるものとなりました。

—— さいたま芸術劇場から何人が随行したんですか。

松野 ● 制作スタッフ3名にツアーマネージャー1名、看護師1名。この5人で出演者全員をサポートしました。

—— 苦勞されたことは。

松野 ● プロは自分の身体の状態を常に把握しているので、アクシデントにも対応できるんですが、このメンバーは普通の生活者。怪我や体調変化があつても無理して頑張つてしまつたりするので、全員の状態をこまめに把握することに、とくに気を遣いました。

—— 最後に、蛭川さんと仕事をしつて感じることを。

松野 ● とても細やかな気遣いをされる方で、毎日、「今日も勉強になりました」つて感じています。楽しくてやりがいもある。ずっと続けていきたいですね。

[聞き手=芸術文化プロデューサー 中島晴美]

[まつのはじめ] 1978年生まれ。日本大学芸術学部演劇学科卒業後、同研究室勤務。2004年からまつもと市民芸術館企画制作専門職員。2008年から彩の国さいたま芸術劇場企画制作担当。さいたまゴールドシアター、さいたまネクストシアター公演のほか、音楽劇「ガラスの仮面～二人のヘレン～」などを担当。



いざ出陣！ 楽屋を出る女優たち



香港公演初日カーテンコール。スタンディングオベーションで湧いた



香港公演舞台稽古中の蛭川幸雄さん

パリ公演初日カーテンコール



チケットの
購入・お問合せ

プラットチケットセンター〔会員先行・一般発売〕
●Web=http://toyohashi-at.jp
ホームページから24時間いつでも予約可能です。※プラットフレンズへの登録が必要です。
●Tel=0532(39)3090
●窓口=穂の国とよはし芸術劇場 1F
Tickets & Informationカウンター
受付時間〔Tel・窓口〕
10:00～19:00
(休館日をのぞく)

U24・高校生以下
割引のご案内

若い人にこそ生の舞台を楽しんでもらいたいから、ほぼすべての豊橋文化振興財団主催公演に割引料金を設定しています。
●料金=U24〔24歳以下対象〕:公演ごとに指定する席種の半額
高校生以下:一律1,000円
●購入方法=各公演の一般発売初日から窓口にて取扱い。
※一部公演により発売開始日や発売方法が異なります。
●その他=本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。
座席の指定はできません。要・入場時身分証明書提示。

3/1 SUN

好評発売中

『狂人なおもて往生をとぐ』

～昔、僕達は愛した～

- 作=清水邦夫 ●演出=熊林弘高
- ドラマターグ=木内宏昌
- 出演=福士誠治/緒川たまき/門脇 麦/葉山奨之
鷲尾真知子/中嶋しゅう
- 日時=3月1日〔日〕14:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] S席:5,500円/A席:3,000円 ほか

東三河の若手音楽家育成コンサート

好評発売中

PLAT enjoy music!

- 日時=3月7日〔土〕14:00開演/21日〔土〕14:00開演
- 会場=PLATアートスペース
- 料金=[全席自由]各回:500円

3/7 SAT

『木管楽器とピアノの響きに包まれて』

- 出演=Ensemble Chouette (アンサンブル シュエット)
加藤英子〔オーボエ〕/勝田千尋〔クラリネット〕
古川真帆〔ファゴット〕/井上陽葉〔作曲・ピアノ〕
- 曲目=ストラヴィンスキー〔井上陽葉編曲〕:『ブルチネツラ』ほか

3/21 SAT

『鈴木智子ピアノリサイタル』

～恋ってどんなものかしら?～

- 出演=鈴木智子〔ピアノ〕
- 曲目=モーツァルト:『きらきら星変奏曲』ほか

3/14 SAT — 15 SUN

好評発売中

市民と創るスケッチ群像劇『話しグルマ』

- 構成・演出=近藤芳正 ●脚本・演出助手=山田佳奈
- 出演=オーディションで選ばれた一般市民
- 出演・演出補=大谷幸広/小野寺ずる/憲俊
- 日時=3月14日〔土〕14:00開演/15日〔日〕14:00開演
※14日公演終了後トークあり
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定]一般:2,000円/ユース(24歳以下):1,000円
こども(高校生以下):500円

4/15 WED — 4/16 THU

『cocoon』関連企画

2013年に今日マチ子の漫画を元に発表された演劇公演『cocoon』が、新たな創作を経て7月25、26日にPLATアートスペースで上演されます。公演に先立ち、演出家によるワークショップと、音楽家と俳優によるリーディングライブを開催します。

藤田貴大演劇ワークショップ

好評受付中

『cocoon』の脚本・演出であり、演劇団体「マームとジブシー」主宰の藤田貴大による演劇ワークショップを開催します。

- 日時=4月15日〔水〕19:00～21:30
- 対象=高校生以上の演劇に興味のある人
- 定員=20名(応募者多数の場合は選考)
- 参加料=1,000円 ●締切=3月27日〔金〕17:00必着
- 会場=PLAT創造活動室A
- お申込み=プラットチケットセンター TEL0532-39-3090 ほか

原田郁子×マームとジブシーリーディングライブ

『あらためまして、はじめまして、ツアー』

～cocoon no oto/cocoon no koe～

会員先行=3月22日〔日〕 一般発売=3月29日〔日〕

『cocoon』の音楽を担当するクラムボンの原田郁子による音楽と、出演の青柳いつみによるリーディングライブです。

- 作・演出=藤田貴大 ●出演・音楽=原田郁子
- 出演=青柳いつみ
- 日時=4月16日(木) 19:00開演
- 会場=PLATアートスペース
- 料金=[整理番号付き自由席] 1,500円

4/25 SAT — 4/26 SUN

好評受付中

扇田拓也 演劇ワークショップ

昨年12月にPLATアートスペースで行われた「てがみ座『汽水域』」の演出を務めた演出家・扇田拓也による一日完結型の演劇ワークショップを開催いたします。俳優を目指している方から、俳優に興味のある方まで、特に経験は問いません。

- 講師=扇田拓也(演出家・俳優)
- 日時=①4月25日〔土〕/②4月26日〔日〕両日とも13:00～17:00
- 場所=PLAT創造活動室A
- 対象=高校生以上の演劇に興味のある人
- 定員=各日20名程度(応募者多数の場合は選考)
- 参加料=1,000円 ●締切=4月10日〔金〕17:00必着
- 申込方法=窓口またはFAX:参加申込書に必要事項を記入の上、プラト一階窓口またはFAX(0532-55-8192)まで。オンライン:劇場ホームページ専用申込フォームより、必要事項を記入して送信してください。

4/26 SUN

好評発売中

残席僅か

春風亭小朝 独演会

昨年、PLAT主ホールで『三つの夢コンサート』をプロデュースし、クラシック音楽への造詣の深さを発揮した春風亭小朝が、いよいよ落語でPLAT初登場です。

- 出演=春風亭小朝
- 日時=4月26日[日] 13:30開演
- 会場=PLAT 主ホール
- 料金=[全席指定]一般:3,500円
ユース:2,500円



春風亭小朝

5/12 TUE

PICK UP!

『ART アート』

会員先行=2月28日[土] 一般発売=3月7日[土]

- 作=ヤスミナ・レザ
- 演出=パトリス・ケルブラ
- 出演=市村正親/平田 満/益岡 徹
- 日時=5月12日[火] 19:00開演
- 会場=PLAT 主ホール
- 料金=[全席指定] S席:9,000円/A席:7,000円 ほか

※各発売初日は、お一人様一申込につき4枚まで。



平田 満



市村正親



益岡 徹

男3人90分ノンストップの大ヒットコメディ 初演メンバーが16年の時を経て再集結!

1999年の日本初演で大好評を博したコメディタッチのストレートプレイ『ART』が、16年ぶりにオリジナルキャストで再演されます。出演は、PLATの芸術文化アドバイザーであり、2001年の本作再演時に読売演劇大賞最優秀男優賞を受賞、また、昨年12月には紀伊国屋演劇賞を受賞した平田満、日本演劇界に欠かせない市村正親、幅広い役柄で確かな演技力を見せる益岡徹の3人。『ART』は1994年にパリで初演されたのち、フランス演劇界の最高賞であるモリエール賞の最優秀作品賞をはじめ、イギリスではオリヴィエ賞の最優秀コメディ賞、アメリカではトニー賞の最優秀作品賞を受賞するなど、高い評価を得ており、これまで35か国語に翻訳され、世界中で上演されてきた傑作コメディです。15年来の大親友である男3人が、高価な現代美術の絵をきっかけにお互いの価値観の違いから妙なすれ違いが生まれ、それぞれになんとかしようとして一生懸命になればなるほど会話はおかしな方向にズレていってしまい…。親友3人のドラマを90分に凝縮して描いた傑作舞台に、ぜひご期待ください。

5/3 SUN — 5/4 MON

大道芸 in とよはし

とよはしアートフェスティバル2015

今年もゴールデンウィークは大道芸で盛り上がる! 世界で活躍する大道芸人たちが、豊橋の街で大暴れ! ふだん何気なく通りすぎている道路や広場が、二日間、まるごと劇場に大変身します。

- 日時=5月3日[日]/4日[月・祝]
- 会場=穂の国とよはし芸術劇場PLAT
豊橋駅南口駅前広場/広小路通り ※3日のみ ほか
- 料金=入場無料



〈ボランティアスタッフ大募集〉

『大道芸 in とよはし』と一緒に盛り上げてくれる仲間を募集!

日時=5月3日[日]、4日[月・祝] 業務時間=10:00-18:00を予定
参加条件=18歳以上で事前に行われる説明会に参加できる方

※詳細が決まり次第、劇場ホームページなどで告知させていただきます。

6/23 TUE

グループる・ばる Vol.22

『蜜柑とユウウツ〜茨木のり子異聞〜』

会員先行=3月21日[土] 一般発売=3月28日[土]

女性視点で「よりリアリティのある等身大の舞台」を目指してきたグループる・ばるの新作公演です。国語の教科書にも載っている女性詩人、茨木のり子さんの生涯を舞台ならではのエンターテインメントを織り交ぜながら描きます。

- 作=長田育恵[てがみ座]
- 演出=マキノノゾミ
- 出演=松金よね子/岡本 麗/田岡美也子/木野 花/小林 隆
野添義弘[SET]/岡田達也[演劇集団キャラメルボックス]
- 日時=6月23日[火] 18:30開演
- 会場=PLAT 主ホール
- 料金=[全席指定] S席:5,000円/A席:4,000円 ほか

7/16 THU

松竹大歌舞伎

中村翫雀改め四代目中村鴈治郎襲名披露

会員先行=4月11日[土] 一般発売=4月18日[土]

- 出演=翫雀改め 中村鴈治郎/坂田藤十郎
中村扇雀/尾上松緑 ほか
- 日時=7月16日[木] 13:00開演/18:00開演
- 会場=PLAT主ホール
- 料金=[全席指定] S席:10,000円
A席:7,000円/B席:5,000円 ほか

※各発売初日は、お一人様一申込につき4枚まで。



翫雀改め四代目中村鴈治郎

5/25 MON — 5/30 SAT

松竹大歌舞伎関連企画

歌舞伎衣裳展

松竹大歌舞伎公演開催を記念して、歌舞伎十八番の演目の衣裳を展示する歌舞伎衣裳展を開催します。松竹衣裳スタッフによる、歌舞伎女形の衣裳着付け実演及び解説《女形のできるまで》も合わせて実施。歌舞伎独特の大胆で豪華な衣裳を間近でご堪能ください。

- 会期=5月25日[月]~30日[土]
- 会場=PLATアートスペース
- 入場料=500円

※詳細が決まり次第、劇場ホームページなどで告知させていただきます。

はじめましての人と人、
はじめましての音楽に出会い、
劇場に音楽の種を蒔く。
“PLAT enjoy music!”
ついに開幕。



「若手音楽家に活躍の場を、お客さまには気軽に音楽を楽しめる機会を」と企画された「東三河の若手音楽家育成コンサート PLAT enjoy music!」。その第1回目、「trio FlaP New year Concert」が、2015年が明けて間もない1月4日、アートのスペースで行われました。初登場を飾ったのは、昨夏のオーディションで21組から選抜された4組から、ピアノとフルート・デュオによる3人組のtrio FlaP。ピアノとフルートの優しい音色と、3人の息がぴったりあった演奏が光ります。

「はじめの曲」という贈り物

午後2時、さあ、開演。アートのスペースは、すでに満員御礼の状態です。今回、特徴的だったのは、「気軽に」という趣旨が伝わったからでしょうか、当日券でいらっしゃるお客さまが予想以上に多かったこと。多くの人にとって正月休み最後となるこの日を劇場でゆったり過ごす、そんな豊かな場として受け止めていただけたのなら、PLATとしても望外の喜びです。やがて、ピアノとフルートによるメンデルスゾーンの「『歌の翼』による幻想曲」が、柔らかに会場を包み始めます。奏者は“trio FlaP”。“FlaP”は、「Flute and Piano」の頭文字を組み合わせたものですが、英語で「羽ばたく」という意味も。その名にぴったりの曲でした。とはいえ、PLATの新春企画第1号ということもあってか、奏者の面々は少々緊張気味。それもまた、客席の、若手音楽家を応援する心と結びついたのでしょう。1曲目の演奏後、奏者の「あけましておめでとうございます！」の第一声に、お客さまから温かな拍手。一気に和やかな雰囲気となりました。続いてニューイヤーコンサートにふさわしく、モーツァルトの「トルコ行進曲」やチャイコフスキーの「くるみ割り人形」など、一度はどこかで聴いたことがある華やかな曲が演奏される

なか、中盤で、耳慣れぬ曲が流れ出して、一瞬、空気が変わります。それが、「アンダンテとロンド Op.25」。ハンガリーのフルート奏者で作曲家のフランツ・ドップラーが、そのものズバリ、2本のフルートとピアノのために書いたもので、実は、昨夏のオーディションで演奏した曲。彼女たちには深い思い入れのある一曲です。一方のお客さまには新鮮な出会い。演奏の合間のトークに楽曲の解説をはさんでくれたことともあいまって、「クラシック音楽のコンサートは、はじめて」というお客さまにも、さまざまな興味を誘うものとなりました。

アートのスペースから育つ音楽の木

そして、お客さまの惜しみない拍手のもと、アンコール。ヴェルディ作曲のオペラ『椿姫』から「乾杯の歌」が流れ出すと、「ブラボー！」の声がかかって、アートのスペースは熱い空気に満たされました。この「ブラボー!」、実は、すでにコンサート中盤から何度か飛び出していました。trio FlaPの面々も、あまり経験がなかったようで、驚きつつも感激。「本当は、曲ごとに言いたいぐらいだったんだけど、遠慮した」という声もあったほどで、奏者にもPLATにも、おおいに励みとなりました。ところで、客席には次回以降の出演者の顔も。そこで、突然のことではありましたが、その場で

立ち上がっていただき、お客さまに少しだけご紹介。若き音楽家たちとお客さまの「はじめまして」の瞬間でした。終演後には、3人揃ってお客さまと談笑しながら、お見送り。写真やサインを求める姿や、「CDがあったら買うのに!」という声に、思わず笑顔がこぼれます。まさに、アートのスペースが人や音楽の繋がる場となる瞬間。ここで出会った人たちがともに音楽の土壌を耕し、音楽の芽を育て、いつかこの街の大きな音楽の木へ。“音楽の種まき”は、第一歩を踏み出しました。



左から加藤千理さん(フルート)、天野あさこさん(ピアノ)、鷹松李奈さん(フルート)



満席の会場は、開演前から静かな興奮に包まれました。
速報! 東三河の若手育成コンサート PLAT enjoy music!
近々、2015年度出演者の募集を開始。詳細は決まり次第
当劇場ホームページやチラシ等にてお知らせいたします。

芸術文化アドバイザー

第9回

平田 満のちょこっとエッセイ 「海をゆく者」



PLAT主ホールの今年最初の公演は、私も出演した『海をゆく者』でした。同世代の小日向文世、吉田綱太郎、浅野和之、大谷亮介の皆さんと私の五人がほぼ出揃ったアイランドのお芝居です。連日満員のお客様で、終演後に熱いカーテンコールの拍手を受け、共演の皆さんも口々に「いいお客さんだ」「やりやすい劇場だ」と言ってくれました。私自身初めての主ホールでしたが、客席との一体感や声の届き方が素晴らしく、とてもいい劇場だと感心すると同時に内心誇らしく思いました。舞台上ではお酒を飲みながらポーカーをする

だけなのですが、その中に非日常が現れ、どうしようもなくむさい男たちのブラックな喜劇とも、魂をめぐるスリリングなゲームとも、救いや愛が隠された美しい物語ともいえる、既成の枠にはめられない作品です。謎が多く、分りやすい説明もなく、観客の想像力にゆだねる部分の多い『海をゆく者』に、こんなに多くの方が詰めかけてくださるとは、正直思っていませんでした。こういう舞台を受け入れ、楽しんでくださるPLATのお客様に感謝すると同時に、この劇場の将来がとても頼もしく思えた新春公演でした。

<p>白井琢也公認会計士事務所 〒440-0862 愛知県豊橋市向山町十一番地の九 http://www.shirai-cpa.com 電話 0532-5712330</p>	<p>本豊川堂 カナルミヤ アピタ 本店 五五二八〇番 支店 五五二八一〇番</p>	<p>代表取締役 竹尾 誠 株式会社 竹尾建築設計事務所 豊橋事務所 / 豊橋市平川町91-2 〒440-0035 Phone: 0532-62-1331 (代) Fax: 0532-62-1332 浜松事務所 / 浜松市東区流元町13 〒435-0007 Phone: 053-422-3628 (代)</p> <p>内科・消化器科・循環器科・眼科・整形外科 脳神経外科・リハビリテーション科</p> <p>医療法人 羔羊会 弥生病院 日本医療機能評価機構認定 渡辺のり子 (東高2回生) 〒441-8106 豊橋市弥生町字東豊和96 TEL (大代) 48-2211</p>	<p>外科・内科・胃腸科・麻酔科・消化器科・呼吸器科 伊藤 藤 文之 二 院 豊橋市小池町字原下三五 電話四五五二八三番代</p>	<p>看板広告 アラキスタヂオ 豊橋市上伝馬町十六 電話 〇五五八六番</p>	<p>医療法人 慈 豊会 大島整形外科クリニック 理事長 大島 照夫 院長 大島 毅 東田町井原三九の七(市電赤岩口駅前) 電話 六二一五五一(一)番代</p>	<p>医療法人 赤岩病院 光生会病院 電話 六二一三二六番</p>	<p>YMバレエ カンパニー ハートフ 21 8610</p>	<p>有限会社 魚 伊 電話 52-5256</p> <p>本と文具なら 精文館書店 TEL.54-2345</p>
---	--	--	---	---	--	---	---	---

竹内産婦人科
産婦人科
婦人科(不妊治療)
豊橋市新本町23
豊橋 竹内産婦人科 検索

水各種販売 / 冷蔵倉庫業
大正冷蔵
本社 豊橋市湊町117
TEL: 0532-52-1161
FAX: 0532-52-8015

COFFEE harobaro
コーヒーハロバロ
市民文化会館内にOPEN!
安心・安全な地下駐車場
パーク500
プラト主ホール・アトスペース公演等へのお客様は30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。
ゾウの親子の看板が目印

写楽集団・クラブ
KAIHO パートII
KOTARU DAIGOLAW
NORI-G 法務 NOBU
財務 倫理 MATSUO
GUCCHI 環境 整備
TAKEDA 広報 photo

株式会社 谷山建築設計事務所
http://taniyama-archi.com

グロトリアンピアノ地域特約店
白羽楽器株式会社
電話 0531-46413015
調理と製菓の美しい資格。
豊橋市八町通 丁目三十二
TEL 五二二八〇九

気まぐれコンサート
事務局 / 0532-62-9259 (小川恵司)

井上皮膚科クリニック
☎ 0532-55-7007
診療時間
月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00
土 10:00~14:00
休診日=水・日・祝
愛知県豊橋市向山町字中畑13-1
マイルストーン1F

am.10:00~pm.5:00
るる
茶房
甘味処 抹茶・コーヒー
あんみつ・豆かんでん
中岩田5丁目6の4 TEL.63-0202

SHIONOYA
塩之谷整形外科
院長 塩之谷 昌
副院長 塩之谷 香
豊橋市稲田町開設54
☎ (0532) 25-2115 (代)

共和印刷株式会社
豊橋市小池町36番地の1
TEL 461132881
FAX 46132885

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科
医療法人 大岩整形外科・皮フ科
院長 大岩 俊久
豊橋市大橋通二丁目二五
電話 五五二二一〇〇

伝統的工芸品豊橋筆
書道用品専門店
豊誠堂
豊橋市呉服町四拾四番地
電話 五二一五五一四

創業文政年間
日栄 ぎく宗
豊橋市新本町40
電話52-5473番

線物 専 家
なりの花でん
コラフロント ホテルアークリッシュ1F

豊橋名産
舟ちくわ

プラットフォーム募集中 [入会金・年会費無料]

特典 1 公演情報をメールでご案内します。
特典 2 インターネットでチケット予約ができます。
特典 3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約できます。

登録方法
●WEBで登録 [穂の国とよはし芸術劇場HP]
http://toyohashi-at.jp
●携帯で登録 https://piagettii.e-get.jp/online-ticket/de/
●窓口で登録
穂の国とよはし芸術劇場 Tickets & Information カウンター

チケット購入案内

◆プラットフォームセンター [会員先行・一般発売]
Web=http://toyohashi-at.jp ※プラットフォームへの登録が必要です。
Tel=0532(39)3090
受付時間 [Tel・窓口]
窓口=穂の国とよはし芸術劇場1F 10:00~19:00
Tickets & Information カウンター (休館日をのぞく)

◆その他 [一般発売・公演によって販売所は異なります]
チケットぴあ / カルミア2Fサービスセンター
ほの国百貨店6Fプレイガイド など

穂の国とよはし芸術劇場PLAT
〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
Tel=0532(39)8810 [代表] http://toyohashi-at.jp
開館時間=9:00~22:00 休館日=第三月曜、祝日の場合は翌日。年末年始。
豊橋駅 (JR東海道新幹線・東海道本線・名古屋鉄道)、新豊橋駅 (豊橋鉄道渥美線) 直結。豊橋駅南口から徒歩3分。 ※駐車場はありません。公共交通機関、お近くの公共駐車場等をご利用下さい。

PLAT CALENDAR

3 MARCH

- 1 SUN** 『狂人なおもて往生をとぐ〜昔、僕達は愛した〜』 PLAT主ホール
おとぎ草子〜琵琶語り〜 豊橋市民文化会館
- 2 MON** 平成二十七年度 豊橋倫理法人会 倫理経営講演会
「ここに活路あり〜大転換期をいかに乗りきるか〜」 PLATアートスペース
- 3 TUE—5 THU** 豊橋演劇鑑賞会第247回例会 エイコーン公演『桜の園』 PLAT主ホール
- 6 FRI** 第729回邦楽鑑賞会 豊橋市民文化会館
- 7 SAT** 東三河の若手音楽家育成コンサート PLAT enjoy music! Ensemble Chouette
『木管楽器とピアノの響きに包まれて』 PLATアートスペース
- 14 SAT—15 SUN** 市民と創るスケッチ群像劇『話しグルマ』 PLAT主ホール
- 15 SUN** 加藤真弓ピアノ教室 発表会 PLATアートスペース
- 21 SAT** 東三河の若手音楽家育成コンサート PLAT enjoy music! 鈴木智子
『鈴木智子ピアノリサイタル〜恋ってどんなものかしら?〜』 PLATアートスペース
- 21 SAT—22 SUN** 桜丘学園吹奏楽部 第28回定期演奏会 アイプラザ豊橋
- 22 SUN** 第29回 豊橋素人歌舞伎保存会定期公演 PLAT主ホール
上海ノスタルジアー写真と中国茶と生演奏のアート空間展ー PLATアートスペース
- 28 SAT** 第17回 豊橋中央高校吹奏楽部定期演奏会 PLAT主ホール
音楽を愛する会in多米 ピアノ発表会 PLATアートスペース
たんぼぼの会コンサート PLAT創造活動室A
- 29 SUN** 金井ゆかり フランス音楽の世界 VOL.8 PLATアートスペース

4 APRIL

- 4 SAT—5 SUN** 歌を愛する会 第3回菜の花歌まつり PLAT主ホール
- 5 SUN** 春の市民大茶会[前期] 豊橋市民文化会館
- 11 SAT** 第1回 C.R.E.A.M.公演「SCREAM!」 PLAT主ホール
PONTA BOX with神谷えり Special Guest 市原ひかり『The GOD』ライブ PLAT創造活動室A
- 12 SUN** YAZベリーダンス発表会 PLAT主ホール
- 17 FRI** 第730回邦楽鑑賞会 豊橋市民文化会館
- 18 SAT—19 SUN** えびね展 豊橋市民文化会館
- 19 SUN** 原田滋子30周年&還暦記念コンサート「愛と人生を紡ぐ」 PLAT主ホール
マタイ受難曲 演奏会 アクトシティ浜松
- 25 SAT—26 SUN** 豊橋総合いけばな展 豊橋市民文化会館
- 26 SUN** 春の市民大茶会[後期] 豊橋市民文化会館
春風亭小朝独演会 PLAT主ホール
第3回豊橋バレエフェスティバル アイプラザ豊橋

[表紙写真] 一人ひとりの個性を捉える、全体を俯瞰する、
物語を構成する。本番2か月前、第一次稽古にて。
左=近藤芳正さん、右=山田佳奈さん(脚本・演出助手)

企画・発行=公益財団法人豊橋文化振興財団
編集=森 絹江
デザイン=松吉太郎デザイン事務所
写真[表紙]=伊藤華織
平成27年2月 発行12号 [隔月発行]

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE
〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
Tel 0532 (39) 8810 [代表] <http://toyohashi-at.jp>

